

# 令和4年度 学力向上推進計画（案）

## 1 目標

「確かな学力」を身につけ、主体的・協働的に学習に取り組む児童の育成

## 2 基本方針

(1) 本校の取組の重点を「学びの質を高める授業改善・学校改善」におき、3つの視点を意識した取組を推進する。

(沖縄県学力向上推進5ヵ年プラン・プロジェクトIIより)

(2) 目指す資質・能力を明確にして授業改善を推進する。

(3) 全職員の共通理解を基に児童や保護者との協働体制を整え、実践する。

## 3 推進の視点

(1) すべての児童に、「学習に向かう姿勢」の育成をめざす。

本校ではこれまで確かな学力の向上を図るために、学習を支える力（規範意識、家庭学習、学習環境、読書など）の育成に注力してきた。

そこで、これまでの取り組みによって育成された力を前提に本校では「学習規律が定着しており、自ら学ぶ意欲をもって主体的に課題解決に取り組む姿」を「学習に向かう姿勢」と捉え、全教諭共通理解のもと、その育成をめざした取り組みを積極的に行っていく。

(2) すべての教師は、「主体的・対話的で深い学び」の実現のための「授業改善」

を図る。

児童に求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を絶え間なく考え、授業の工夫・改善を全教諭協働で行う。

その一つの手法として「学習リーダーを中心に、全児童と教師が共に展開する授業スタンダード」を校内研究で研究・研修し、推進する。

(3) すべての家庭で、「基本的な生活習慣の確立」をめざす。

児童が自主・自律した生活ができるように家庭との情報共有を大切にし、児童の状況について正確に把握・改善を図るとともに、学校と家庭が連携して児童の生活リズムの定着と規範意識・マナーの向上をめざす。

今年度の重要取組事項を「早寝・早起き・朝ごはん」とし、家庭と連携して取り組む。

(R3はつらつカードの結果より)

#### 4 推進の年次計画

ステップ	施策の重点	本校の取組内容
【質的改善期】 令和2・3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領の全面実施に対応した教育課程の整備</li> <li>○3つの視点・5つの方策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上推進体制の構築</li> <li>○学力向上推進の具体的計画の作成</li> <li>○重点事項及び達成目標の設定</li> </ul>
【充実期】 令和4・5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領の基づく教育課程の充実</li> <li>○3つの視点・5つの方策による学びの質的改善のマネジメントサイクルの確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組事項の日常化</li> <li>○実施状況の把握と問題点の整理</li> <li>○具体的取組の実施・改善</li> </ul>
【総括期】 令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学びの質的改善の取組の成果・課題の検証</li> <li>○時期施策策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な取組の実施</li> <li>○成果と課題、今後の改善策などのまとめ</li> <li>○次期学力向上推進に向け、課題に基づいた推進計画の作成</li> </ul>

\*『学力向上推進5カ年プラン・プロジェクトⅡ』（5年計画）に沿った推進年次計画とする。

#### 5 本校の学力向上推進フォーカスシート（R3）※一部抜粋

様式2 令和3年度版 学力向上推進フォーカスシート

～学力向上マネジメントを機能させるために～

学校名	豊見城市立豊安小学校
校長名	眞志 直哉

本校で育成する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科等の「見方・考え方」を軸に概念化された生きて働く知識・技能</li> <li>○課題を多面的・多角的に捉え、いろいろな手立てで解決できる思考力・判断力・表現力等</li> <li>○自己有用感を持ち、主体的・協働的に学び、活動しようとする意欲・態度・粘り強さ</li> <li>○思いやりをもって相手の考えを受け入れ、尊重しようとする態度、人間性</li> </ul>
校内研究テーマ	子どもが生きる主体的・協働的な学び～児童が学び方を身につけ、児童主体で展開していく授業の追求～

	自校の課題	重点方策	診断重点項目	評価方法/結果	改善策
自己 成長 の 追求	生徒指導の3つのポイントが充実した授業と支持的風土づくりの4つのポイントを踏まえた教育活動の推進	方策3 <ul style="list-style-type: none"> <li>○「授業」「教科書」を基盤に広い視野からの児童理解とカウンセリングマインド</li> <li>○「安心・所属・承認・自立」で支持的風土のあるインクルーシブ型学習環境の充実</li> <li>○児童の主体的で組織的な活動を大切にした学級活動、児童会活動の充実</li> </ul>	児童…「楽しく話せたり、遊んだりするお友達や仲間はいませんか」等5項目 学校…「支持的風土づくりの4つのポイントを生かした学級経営」等10項目	学校評価（教職員）及び児童及び保護者アンケート 評価 児童が満足評価91%と充分満足、学校は満足3.1で概ね満足いく評価。5月より12月調査が向上した。特に「自分には良いところがある」（自己肯定感）が57%から68%へと向上した。	教職員評価「学級経営・自己有用感の育成」計10項目の実践を充実させる。特に、普段のSGF、「聴くこと」、児童の自治的活動の活性化と徹底を図る。
学び 成長 の 実感	教師と子どもで創る「主体的・対話的で深い学び」の授業改善と授業のユニバーサルデザインの推進	方策2 <ul style="list-style-type: none"> <li>○アセスメントによる実態や課題把握と共有及び目指す授業の理論的背景の理解と共有</li> <li>○全学年合同の教材研究の日を活用した授業研究とそろえる授業実践の推進</li> <li>○外部講師等を招聘、活用し、全教職員で共有できる理論研究と授業改善の追求</li> </ul>	児童…「あなたは、授業で自分の考えを伝えたり、発表したりしていますか」等4項目 学校…「子どもが生きる主体的で協働的な授業を実践している」等10項目	学校評価（教職員）及び児童アンケート、各種学力調査 評価 児童が満足評価83%、学校は満足3.1で両者とも概ね満足いく評価。6月より12月調査が向上した。特に教師の「主体的協働的な授業実践」が2.7から3.1へと向上した。	令和4年度沖縄県指定研究校の研究領域「方策1・2」に全職員で取り組む。また、週時程に「合同教材研究の日」を設定する等、全学年間の連携体制を強化する。
組織 的 な 変革	学校評価や各種調査等のエビデンスを生かした全教職員参画によるグランド・デザインの作成と推進	方策4 <ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上推進の3つの視点と学びの質を高める5つの方策を具象化した取組推進</li> <li>○学校評価等と関連付けたカリキュラム・マネジメント及び年間サイクルの確立</li> <li>○教職員及び全児童にとって主体的・対話的で深い学びのある校内研究体制の充実</li> </ul>	学校…「校内研修」2項目と業務改善の4項目	学校評価（教職員） 評価 校内研修の評価3.3で概ね満足、業務改善は2.5でやや不満足という評価。6月より12月調査が若干向上した。特に働きやすさや業務への専念度に課題があった。	学校評価を生かしたグランドデザインを作成し、その具現化のための企画委員会組織体制の構築を図る。学校だより（保護者へ）、校長だより（職員）を充実させる。

## 6 学力向上推進全体構想図



## 7 学力向上推進に係る年間計画

月	旬	実践内容	担当
4	初	学力向上推進計画の検討と共通理解	学推部・全学年
	中	【学習規律強化月間】 黄金の3日間（学習規律をそろえる取組）の実践① 生き生きプラン目標の設定（各学年の具体的な取り組み）	全学年 学推部・全学年
		<4月19日>全国学力・学習状況調査	6年生
	下	学推全体朝会①【学習に向かう姿勢】	学推部
5	中	学力向上推進研修会① （今年度の取組共通理解・学習状況調査問題を解く）	全学年
6	初	【学力向上強化月間】 学推全体朝会②【わくわく学習】 家庭学習アンケートの実施①（3年生以上）	学推部・全学年
	中	学校評価アンケート（教師・児童・保護者）①	全学年
		学びのたしかめに向けての取り組み	4～5年
下	<6月>学びのたしかめ	4～5年	
7	初	1学期漢字力・計算力強化月間（ミライシード活用）	全学年
8	下	学力向上推進研修会②（全国学力学習状況調査の課題と改善）	学推部・全学年
9	初	座安っ子「はつらつカード」の実践①	全学年
10	中	【学力向上強化月間】 <2学期>黄金の3日間（7つの取り組み）の実践② 学推全体朝会③【学習に向かう姿勢・わくわく学習】 家庭学習力アンケートの実施②（3年生以上）	学推部・全学年
11	中	学校評価アンケート（教師・児童・保護者）②	全学年
12	初	<12月>市学力到達度調査（12/6）	1～6年
1	初	【学力向上強化月間】 学推全体朝会④【わくわく学習】 座安っ子「はつらつカード」の実践② 家庭学習アンケートの実施③（3年以上）	学推部・全学年
	下	学力向上推進研修会③（市学力調査の課題と改善） 県学力到達度調査に向けての取り組み	全学年 4～5年
2	初	<2月>県学力到達度調査	4～5年
3	初	学年末漢字力・計算力強化月間（ミライシード活用）	全学年
	中	学力向上推進研修会④（反省と評価・次年度計画）	各学年・学推主任

## 8 具体的な取組について

本校では、学習規律など学習に向かう姿勢を徹底し、児童が活躍し、児童自ら「わかりたい、できるようになりたい授業」のために授業改善を日々行い、家庭と連携して、子どもの生活リズムなどの基本的な生活習慣の定着を図ることを重点目標として、教師、家庭、地域の多面から、児童の自ら学ぶ力を育成するために協働的に取り組む。

### (1) 「確かな学力」の育成をめざす取組

#### ア. 基礎的・基本的な知識・技能の育成

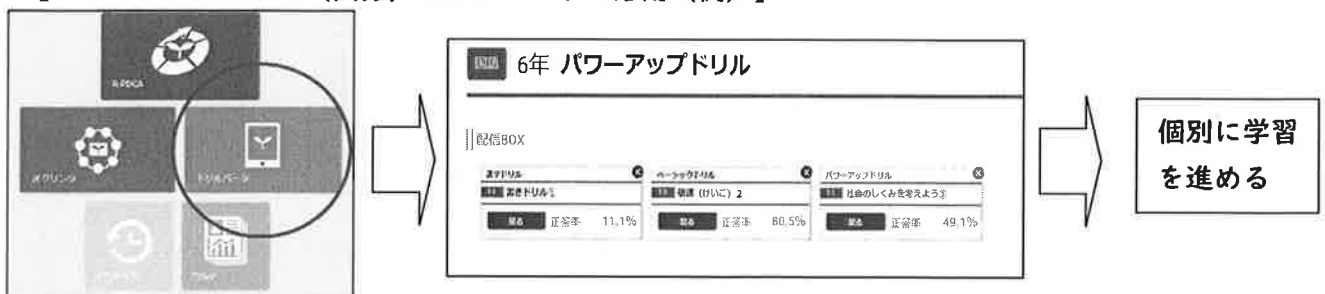
本校児童の基礎的・基本的な知識・技能の育成のために、今年度から週時程を見直し、毎週水曜日と木曜日を「パワーアップタイム」として学校統一した朝の時間を設定し、全学年で補習指導に取り組む。

毎週の学習内容を明確にし、確実にを行うことによって、学級間の定着の差をなくし、全児童の学力の習慣化と定着を目指す取組を実施する。また、タブレットを効果的に活用することで、児童の進捗や定着具合が把握でき、印刷に要する時間や紙の削減など仕事の効率化にもなる。

#### 【令和4年度日課表・週時程】

時刻	月	火	水	木	金
8:00~8:10	登校・朝の読書（朝読）・委員会活動（6年）				
8:15~8:30	学級の日	朝会	パワーアップタイム（国語）	パワーアップタイム（算数）	読み聞かせ
8:30~8:40	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会	健康観察・朝の会

#### 【パワーアップタイム（国語）のタブレットの活用（例）】



ミライシード（ドリルパーク）

課題を配信（宿題配信）※複数クラス可

#### イ. 学習意欲を高める環境づくり

座安小学校の中央にある階段は全児童が毎日上り下りするため、そこにある掲示物板に学力推進に関する掲示物を貼り、啓蒙を図っている。

6月、11月、2月の学力向上月間において、ノートを使い方、児童の家庭学習のお手本（わくわく学習）などを掲示したり、階段に同音異義語や算数の公式等を貼り、日常的に視覚に入るようにしたりして、工夫する。



全児童が毎日見る掲示板



生活リズムを整える週間



各学年のわくわく学習を掲示



全国学力・学習状況調査



6年生からみんなへ



身近な話題から読書の啓発

## ウ.自ら学ぶ力（自己マネジメント力）を鍛える

自ら学ぶ力を育成する手立てとして児童の家庭学習力の向上と、家庭学習の充実を位置付ける。そうすることで、子ども達の主体的で豊かな学び方の育成を図る。

### (ア) 家庭学習力アンケートの活用

「家庭学習の8つの力」を明確にし、学びの力を高めるためのアンケートを実施して自分の家庭学習の状況を定期的に見つめさせ可視化する。また、友達と協働的に改善・実践していくことを通して、児童一人一人の家庭学習力の向上を図り、自己マネジメント力を身に付けることで、子ども達の主体的な学びを育む。

さらに、3年生以上の児童には個別ファイルを作成し、アンケートの個票やはつつカードを綴らせ、持ち上ることで、自分の学習状況や生活リズムをふり返ることができるようになる。（キャリア教育との関連）

家庭学習力アンケート

学年( ) 月( )

このアンケートは、我が国の家庭学習をよりよくするために、教育現場での調査や実践のよう  
な取り組みを促すため、そのための評価カードの調査や実践を促すために、一つ一つの学び  
の場を、学校の現場に持ち寄り、活用していただくためのものです。

学習習慣（大抵の学習も、こつこつ続ける力）

1. 毎日 学校の宿題をしっかりと、毎日定時に終わらせている。 4-3-0-2-0-1  
2. 2週 毎日宿題を終わらせているが、毎日定時に終わらせていない。 4-3-0-3-0-1  
3. 3週 毎日宿題を終わらせているが、毎日定時に終わらせていない。 4-3-0-3-0-1

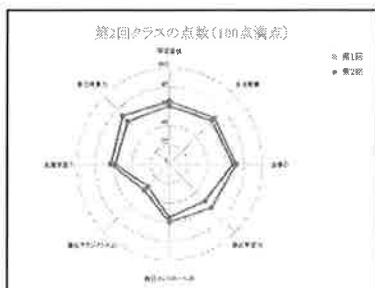
生活習慣（健康に生活を送る力）

1. 毎日 一日の生活リズムを整え、健康的な生活を送っている。 4-3-0-2-0-1  
2. 2週 生活リズムを整えているが、毎日定時に終わらせていない。 4-3-0-3-0-1  
3. 3週 生活リズムを整えているが、毎日定時に終わらせていない。 4-3-0-3-0-1

自律心（自分から進んで取り組む力）

1. 毎日 自分で決めた学習計画や目標を、毎日定時に達成している。 4-3-0-2-0-1  
2. 2週 自分で決めた学習計画や目標を、毎日定時に達成している。 4-3-0-3-0-1  
3. 3週 自分で決めた学習計画や目標を、毎日定時に達成している。 4-3-0-3-0-1

アンケート（タブレットで実施）



レーダーチャートによる可視化



学級の力を伸ばすための話し合い

グループで話し合おう！

3. 自分の強み(高い強み)【2つ】

学習習慣 生活習慣

同じ点数があったら、達成できそうな方をえがけよう！

4. 自分の伸ばしたい力(低い強み)【2つ】

伸ばしたい力	示しかかり	目標
自己コントロール力	授業を聴かずに寝てしまったり、席を空けてしまったりすること。	自分ひとりで集中して授業をやるようにする。
自己管理能力	自分の学習計画を立てることができていない。	自分の学習計画を立て、毎日定時に達成できるようにする。
自己学習力	自分の学習計画を立てることができていない。	自分の学習計画を立て、毎日定時に達成できるようにする。

話し合いのワークシート

### 【発達段階に応じた指導方法の留意点】

- 低学年**…自己マネジメント力の土台となる基本的な学習姿勢（宿題はきちんとやる等）の育成。
- 中学年**…徐々に家庭学習の8つの力の指導を取り入れる。3年生は保護者との連携を充実させ、徐々に定着できるようにしていく。
- 高学年**…家庭学習の8つの力の育成を図る。キャリアパスポート等との連動しながら児童との対話を充実させ、自己点検が将来必要な力であることをよく理解させながら取り組めるようにする。

### 【家庭学習の8つの力】

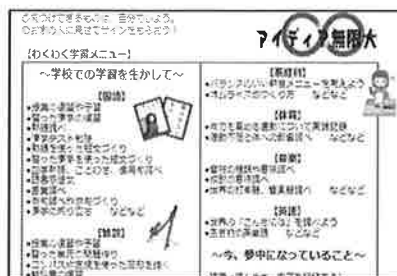
- ① 学習習慣（大切な学習を、こつこつ続ける力）
- ② 生活習慣（規則正しく健康な生活をする力）
- ③ 自律心（自分から進んでとりくむ力）
- ④ 自己学習力（自分で決めて学習する力）
- ⑤ 自己コントロール力（やりたくないこともがんばる力）
- ⑥ 自己マネジメント力（自分の振り返りをしてよりよくする力）
- ⑦ 生涯学習力（おとなになっても学ぼうとする力）
- ⑧ 自己成長力（自分をもっと成長させようとする力）

#### （イ）毎日の家庭学習を通して

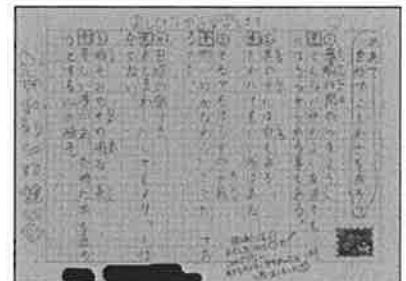
学推朝会で家庭学習の必要性や身につく力を説明したり、家庭学習を教師から与えられた課題「こつこつ学習」と自主的・自律的な学習をねらいとした「わくわく学習」に分けてそれぞれのねらいを確認したりするなど、家庭学習の質・内容の高まりや広がりを図る。



改善・実践につながるお手本の掲示



わくわく学習のメニュー



児童のわくわく学習（5年）

#### エ. 主体的・協働的な学習

本校の校内研究テーマである『子どもが生きる主体的・協働的な学び ～児童と教師がともに展開する座安スタンダードの授業を通して』のもと、学習リーダーを中心に、全児童が主体的に学習に参加し、互いに学び合う学習過程を通して、児童に豊かな学び方を身につけさせる『西留式授業スタイル』を推進する。また、職員の研鑽を深めるため、高知県教育委員会スーパーバイザーも務められた西留安雄氏を本校に講師としてお招きし、理論研修や授業参観、西留式授業の演習などの研修を行う。さらに、週時程を見直して毎週金曜日の放課後を「校内研に係る教材研究日」と位置づけることで、学年合同での教材研究や他学年との情報共有をスムーズに行うことができ、協働体制で取り組めるようにする。

実際の授業の様子



互いに学び合う



互いの考えを出し合いまとめる



学習リーダーを中心に

3-12 はできないよ。  
3 を 1 と 2 に分けて…。

見通しを持ちましょう。今日のキーワードはなんですか？

オ. 読書活動の充実

今年度から、児童が読書をする時間を確保し、読書を通じて培われる力（※）の向上を目指して、登校してから始業開始前の時間を朝の読書タイム（朝読）とした。

【読書で培われる力】

読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになる。また、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる探究心や真理を求める態度が培われる。（文科省 HP より抜粋）

(2) 「学習に向かう姿勢」の育成をめざす取組

ア. 学習規律の徹底

(ア) 黄金の三日間の取組

4月の学年当初は、子ども達が胸をときめかせ、希望に満ちあふれている時期であり、担任の話をよく聞いてくれる時期でもある。そのときに、学校・学級のきまりや規律面の指導を行うことは効果的である。

そこで、黄金の三日間で徹底する7つの取組を学校で統一して共通実践する（図1）。また、市教育委員会の「学力向上強化月間（学習規律徹底月間）」と連動させて1ヶ月間継続指導を行う。さらに、1学期だけではなく、2学期の初めにも同様な取り組みを実施することで学習規律の徹底を図る。

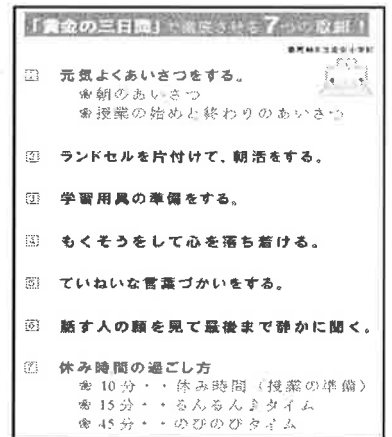


図1 黄金の三日間の取組

(イ) 筆箱の中身の指導

本校の課題の「授業中に筆記用具で遊ぶ子がいる」ということを受けて、令和2年度の4月から筆記用具の中身を学校で統一した。そのために、保護者に筆箱の中身について、家庭訪問で協力を配布し、学推朝会で全児童と確認する。また、4月に職員間でも筆箱の中身についての見直しと共通確認を行い、筆箱の中身の凡例イラストを配布して共通実践を進める。さらに、2学期の初めに筆箱の中身について再度確認（図2）をすることで指導の徹底を図る。

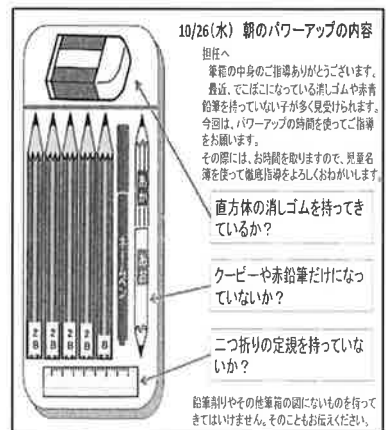


図2 筆箱の中身の指導内容



(ウ) 「学級経営の時間」の設定

学年当初の学級づくりのために、担任との信頼関係を構築できる学級経営の充実を図った。授業前の朝の15分間を活用し「教師による読み聞かせ」や「学級のルールの確認」等の「学級経営の時間」を設定する。

「教師の読み聞かせ」は、新しい担任の先生の話静静地に聞く姿勢を身につけさせることを目的とする。その読み聞かせの本の選定は、発達段階に合わせて「4月の学級づくり」に適した本を視点にリストアップを活用する(図3)。担任の読み聞かせによって、心温まる話を聴いて穏やかな気持ちにさせるとともに、新年度の夢や希望を育み、教師との信頼関係の構築を図る。また、二つ目の活動の「学級のルールの確認」では、4月の学級経営上、守るべき学校のルールを再確認する。特に、朝の登校した後の活動内容を明確に伝えとともに、できていることを認めたり、不十分な点に気づかせたりする。

4月	11日	「教室はまちがうところだ」 学級に間違ってもよいという雰囲気を作ってくれる学級経営のてんばん本です。 *1冊をご用意していますので、6年の2学期から行います。	
月	13日	「ゆめはどうしてかなわないの？」 だれもが持っている夢に何故も挫折する場面を取り上げ、夢を持った子ども達が大人になるまでをイメージさせてくれる斬新な本です。最高学年の子ども達に「夢」を問いかけ、夢をおきらめない「おねないん」を志して欲しいとメッセージを込めて読みたい本です。	
	25日	「ともだちのしるしだよ」 「ともだちのしるし」だからとスリッパ片方をリサに渡すフェローダ。大切な友達を引き裂く親戚問題と友情の様が見事に描写されている絵本です。6年の子ども達に「親友とは」というテーマの基に読み聞かせをするのはいかがでしょうか。	

図3 6年の読み聞かせリスト

(3) 基本的な生活習慣の確立をめざす取組

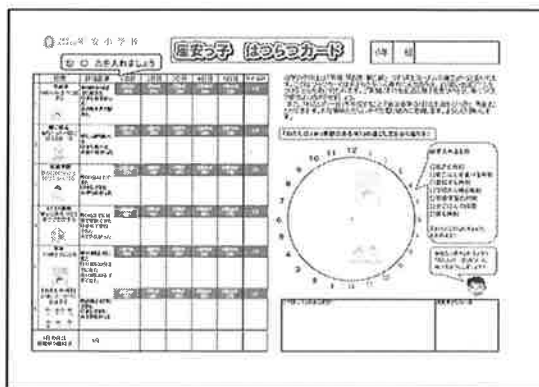
ア. 「はつらつカード」の改善と実施

『基本的な生活習慣の確立』を目指して、「早寝」「朝ごはん」「家庭学習」などの項目を点数で表し、自己の生活リズムを客観的に振り返られるようにした。また、目標とする「わたしの1日の過ごし方」を円グラフに表して可視化し、親子で振り返ることができるようになることで、より効果的な取組を図った。

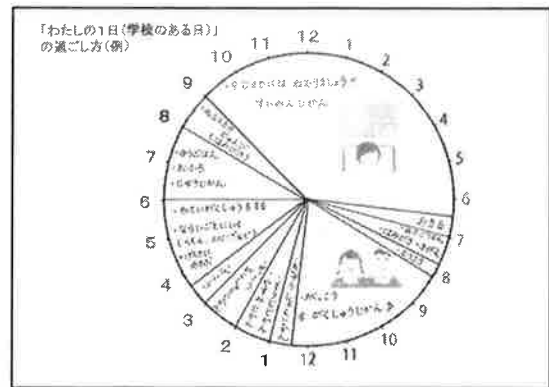
さらに、年間を通して自らの成長の足跡を実感させ、次の学年でも目標を立てることに役立てるため、個別ファイルに綴り、次の学年へ持ち上がることでねらいの達成を図る。

【第1回】夏休み明け(9月の平日1週間) 全学年実施

【第2回】冬休み明け(1月の平日1週間) 全学年実施



はつらつカード(6年)



わたしの1日の過ごし方

# 令和4年度 座安小学校のいきいきプラン

～1年間、達成を目指して、教育活動を展開しよう！～  
＜「確かな学力の向上」で目指すこと＞



## ① 国語と算数の基礎・基本の定着をはかる

- 国語・算数の単元テストの目標を、低学年90点以上、中学年85点以上、高学年85点以上とする。そして、目標点数を超えた児童の割合について、以下の通り、各学年で目標設定し、基礎的・基本的な事項の定着を目指す。

(1学年…80%以上    2学年…80%以上    3学年…75%以上)  
(4学年…75%以上    5学年…70%以上    6学年…70%以上)

## ② 読書活動の充実をはかる。

- 各学年の年間目標冊数 (低学年…100冊    中学年…90冊    高学年…80冊)を設定し、80%以上の児童の目標達成を目指す。



## ③ 沖縄県学びのたしかめテスト（6月）

- 4年(国算)、5年(国算)ともに県平均、市内平均を上回る正答率を目指す。

## ④ 豊見城市標準学力テスト（12月）

- 4年(算)、5年(国算)、6年(算)、ともに市内平均を上回る正答率を目指す。

## ⑤ 沖縄県学力到達度調査（2月）

- 5年(国算理)、6年(算)ともに県平均、市内平均を上回る正答率を目指す。

## ★「学習を支える力の育成で目指すこと」

### ⑥ 家庭学習の習慣化

- 90%以上の児童が家庭学習（宿題）を毎日提出することができる。



### ⑦ 基本的な学習態度の育成

「座安っ子のきまり」を十分に指導し、学習規律を守り、落ち着いて授業をすることができる学級、児童を育成する。

- 90%以上の児童が授業開始時刻と同時に黙想をすることができる。

## ★「基本的な生活習慣の確立」で目指すこと」

### ⑧ 生活リズムの確立

- 60%以上の児童が6時30分までに起きることができる。（はつらつカードの活用）